

## 第2回 本町二丁目交差点（五差路）周辺における地域懇談会

### 議事概要

1. 日時 令和元年6月28日（金） 13:30~15:05
2. 場所 前橋テルサ 9階 つつじの間
3. 出席者

#### [会長]

湯 沢 昭 （前橋工科大学 名誉教授）

#### [副会長]

角 田 雄 二 （前橋市自治会連合会長）

森 田 哲 夫 （前橋工科大学 工学部教授）

中 島 實 （前橋市副市長）

#### [委員]

松 澤 正 幸 前橋市表町一丁目自治会長

山 田 光 夫 前橋市表町二丁目自治会長

菱 川 一 男 前橋市本町一丁目自治会長

福 田 尚 文 前橋市本町二丁目自治会長

市 村 良 治 前橋市本町三丁目自治会長

近 藤 久 前橋市大手町二丁目自治会長

綿 貫 岑 生 前橋市紅雲町一丁目副自治会長（自治会長代理）

堀 込 隆 邦 前橋市紅雲町二丁目自治会長

小 林 要 一 前橋商工会議所 快適なまちづくり専門委員会委員長

吉 岡 慧 治 前橋商工会議所 市街地活性化専門委員会委員長

村 井 誠 志 前橋商工会議所 事務局長（兼）政策部長

江 原 友 樹 前橋街づくり協議会会長

植 木 修 前橋中心商店街協同組合理事長

碓 井 洋 子 前橋駅前通り商交会会長

駒 井 健一郎 本町通り商交会副会長（会長代理）

井 上 治 前橋八展商店会会長

堤 啓 国土交通省高崎河川国道事務所長

青 木 潔 群馬県まちづくり室長（群馬県県土整備部都市計画課長 代理）

稲 田 貴 宣 前橋市政策部長

高 橋 智 嗣 前橋市都市計画部長

都 所 幸 直 前橋市教育委員会事務局学校教育課長（教育委員会事務局指導担当次長代理）

[事務局（国土交通省高崎河川国道事務所計画課・前橋市都市計画部都市計画課）]

#### 4. 懇談会

##### (1) 開会（挨拶）

湯 沢 昭 会長（前橋工科大学 名誉教授）

##### (2) 報告事項

- ・地域の意見聴取結果について
- ・前橋市中心市街地にぎわいと魅力の再生について

##### (3) 意見交換

<委員からの主な意見等>

###### ■本町二丁目交差点（五差路）について

- ・五差路の改良案について、具体的な説明が欲しかった。
- ・JR前橋駅から中心市街地の通りの中で、五差路は抵抗・障害になっている存在だ。
- ・アンケート結果が示されたが、ほとんどの方が五差路の改良は必要だという認識を持っている。この声をしっかり受け止めて計画を進めていかなければならない。
- ・五差路の改良は、駅前通りの歩行者を増やすという点で重要だと考えている。
- ・アーバンデザインや中心商店街の活性化の話があったが、五差路の改良がどう結び付いているのか分からない。
- ・今後の懇談会では五差路の改良案が示されるだろうと思うが、5年後10年後の状況がどうなっているのかを踏まえて考えないと、示される案に対して良い悪いが判断できない。どの方向に力を入れて取り組んでいくのかが見えないと五差路の改良について方向性が判断できない。
- ・何年後に五差路の改良を行うのか、目標を立てて進めてもらいたい。
- ・至近の交通量調査によると、歩行者や鉄道利用者が増加し始めている。この機運を逃さず五差路の改良について検討を進めてもらいたい。
- ・五差路の改良案を早く検討し示してもらいたい。
- ・五差路の改良に要する費用及び工期を早く明らかにしてもらいたい。そして、遅くならない時期に検討を進めてもらいたい。
- ・駅前通りや街中の活性化は市が中心に、五差路は国や県が中心に、どうするのか議論して詰めていってもらいたい。
- ・市が5年10年先の姿を描いて発展していくことが、五差路の整備効果に大きなウエイトを占めていると考える。

###### ■まちづくりについて

- ・今後の人口減少のあおりを受けて商店の売上げが伸びない状況がやってくることを、どう考えていくべきか。
- ・観光の面からも、中心市街地に観光客を呼び込むことを考えて計画してもらいたい。
- ・五差路のような国道、県道、市道がある交差点ではアーバンデザインで描いたイメージ図のように簡単にいかないように思う。
- ・外部からの観光客をどう中心市街地に引き込むか、魅力創出が大切だ。歴史や文化なども活かしながらアーバンデザインを計画してもらいたい。
- ・駅前通りにあるオープンデッキは活用され憩いの場となっているので、より活用するべき。

- ・ どうしたら市民や観光客が使いやすい道になるのかを考えるのが、この会の一番のテーマだと思う。
- ・ 五差路やその周辺の通りを、ただの通路にしないような施策にしてもらいたい。
- ・ 歩行空間としてだけでなく、楽しんだり休憩できたりする空間として地元で使い方を考えてもらうのも、駅前通りの魅力を高めると思う。
- ・ まちづくりは役所が支援をして基盤を作ってくれるが、心を入れるのは市民や民間である。
- ・ 八展通りは五差路から中央前橋駅までを結ぶ重要な区間の一つである。商交会としても協力していく。
- ・ 前橋市はまちづくりと交通計画を積極的に進めていることを、国に伝えていただきたい。

#### <委員からの意見に対する事務局の回答>

##### ■本町二丁目交差点（五差路）について

- ・ 五差路の改良案は、現在国土交通省で検討しているところである。
- ・ 現在は、まちの将来を見据えながら前橋のまちづくりのために必要な事業として検討を進めている。
- ・ 五差路の整備、アーバンデザイン、公共交通再編等は全て中心市街地活性化を目標としている事業計画である。総合的に連携して中心市街地活性化に結び付けていく必要がある。
- ・ アーバンデザインは定住人口に加えて交流人口についても視野に入れて計画を策定している。また、観光的にも魅力的な街並みを可視化して示すことで、例えば五差路の整備に際してオープンスペースや建築物等の建て替えなどが生じた場合には、アーバンデザインを活かすことができると考える。
- ・ 五差路は前橋駅から中心市街地に歩いて向かうにあたっての一つの障害となっているため、改良が必要だ。公共交通がより便利になるように MaaS、スマートモビリティチャレンジ、乗り換えが便利な仕組み作りが必要であり、全てが関連して中心市街地のにぎわいに向かっていくべきと考える。

##### ■まちづくりについて

- ・ 立地適正化計画において人口集約と公共交通を使ったまちづくりを進めている。中核市として発展していくという理想を掲げながら進めていきたい。スマートモビリティチャレンジも全国の計画から選抜された計画であり力を入れている。全てセットにして、五差路の改良が図られることによって、街全体の発展を狙っていきたいと考える。
- ・ 市街地総合再生計画は、駅前通りを含む中心市街地を重点施策区域として位置づけており、再開発事業を始めとした一体的なまちづくりが考えられている。
- ・ 買い物するだけでなく、その場に滞在してもらうことがにぎわいにとって大切だと考えている。その一つにアーバンデザインがある。買い物だけをするのではなく、滞留してもらうようにしないと、にぎわいを創出できないと考える。